

渋谷 PARCO 建て替え工事仮囲い × AKIRA ART WALL 第2章

株式会社パルコ（本部：東京都渋谷区、代表執行役社長：牧山浩三、以下パルコ）は、建替えのため一時休業中の渋谷 PARCO の工事仮囲いを「アートウォール」として活用、情報発信を行うことにより、公園通り・スペイン坂エリアのにぎわい創出と来街者増加に貢献するため、昨年10月から日本を代表する漫画家・映画監督である大友克洋氏が氏の代表作である『AKIRA（アキラ）』をコラージュアーティストの河村康輔氏と共同で再構築し環境演出して参りました。今回は5月16日（水）から新たな構成で『AKIRA（アキラ）』の渋谷アートウォール・プロジェクトの第2章に切り替え、渋谷がアート・カルチャーの発火点であることを世界に向けて発信して行きます。

今後2019年秋の新生渋谷 PARCO オープンまでにもう一度アートの切り替えを行う予定ですが、作品が出来次第随時切り替えて行く方針となります。



▲新アート一部抜粋 ©MASH・ROOM/KODANSH ©Kosuke Kawamura

<アートウォール実施概要>

日時：2018年5月16日（水）～2019年初頭 * 現在掲出中のアートは5月15日（火）まで

場所：渋谷区宇田川町15 ※図参照

展示作品数：1点（2017年10月現在）

展示作品サイズ（横×縦）：ペンギン通り 30,000mm×2,000mm 公園通り左側 2,800mm×2,200mm

公園通り中央 12,000mm×2,200mm 公園通り右側 1,560mm×2,200mm



▲第1弾アート 記録写真 ©MASH・ROOM/KODANSH ©Kosuke Kawamura

撮影：TAKAMURADAISUKE

<本件に関するお問合せ先>

株式会社パルコ 広報/IR室 TEL03-3477-5710 小野 ono-jun@parco.jp

渋谷 PARCO 建て替え工事仮囲い × AKIRA ART WALL 第2章

アートウォール作品について

大友克洋氏の『AKIRA（アキラ）』の世界観を表現した作品を展開いたします。本作品は、2019年の東京が舞台で2020年の東京オリンピック開催も予言され話題となっております。また、映画化され日本国外でも高い評価を得ており、海外からの旅行者も多い渋谷での展開にふさわしいため、今回の取り組みとなりました。

<大友克洋（おおともかつひろ）>

日本の漫画家、映画監督。代表作に『童夢』『AKIRA』など。ペンタッチに頼らない均一な線による緻密な描き込み、複雑なパースを持つ画面構成などそれまでの日本の漫画にはなかった作風で、80年代以降の漫画界に大きな影響を与えた。1988年、自作を元に自ら制作したアニメーション映画『AKIRA』は日本国外でも高い評価を獲得、「ジャパニメーション」と呼ばれる、日本国外における日本アニメムーブメントのさきがけとなった。

- ・1984年第8回講談社漫画賞一般部門受賞
- ・1992年オールカラー国際版AKIRAが最優秀彩色部門アイズナー賞を受賞
- ・2002年アイズナー賞最優秀国際アーカイブプロジェクト部門および最優秀国際部門を受賞
- ・2005年フランス政府から、芸術文化勲章シュバリエを受章
- ・2013年日本国政府から、紫綬褒章を受章
- ・2014年フランス政府から、芸術文化勲章オフィシエを受章
- ・2015年第42回アングレーム国際漫画祭・最優秀賞を受賞

<河村康輔（かわむら こうすけ）>

グラフィックデザイナー、アートディレクター、コラージュアーティスト。「ERECT Magazine」アートディレクター。サンフランシスコでの個展「TOKYO POP!!」（2011年）、「大友克洋 × 河村康輔」コラボレーション展『Re:construct in TOKYO』@A BATHING APE（2014年）を始め、スイス、ドイツ、フランスなど国内外の様々な美術館、ギャラリーで個展、グループ展を開催。代表的なアートワークに、「大友克洋 Genga 展」メインヴィジュアル（2012年）、田名網敬一作品集『glamour』の100冊限定表紙コラージュ（2013年）、映画『SHORT PEACE』のメインヴィジュアル（2013年）等。これまでに作品集『2ND』（ERECT Lab.）、『MIX-UP』（ワニマガジン社）、『22Idols』（ERECT Lab. / Winston Smith との共著）、対談集『1q7q -LOVE AND PEACE-』（東京キララ社）を刊行。ファッション雑誌「EYESCREAM」、季刊誌「TRASH-UP!」（根本敬氏と共作の実験アート漫画「ソレイユ・ディシプリン」）にて連載を持つ。2017年、大友克洋氏と共作で「INSIDE BABEL」（ブリューゲル「バベルの塔」展）を制作。

©MASH・ROOM/KODANSH ©Kosuke Kawamura

<アートウォール実施概要>

日時：2018年5月16日（水）～2019年初頭*現在掲出中のアートは5月15日（火）まで

場所：渋谷区宇田川町15 ※図参照

展示作品数：1点（2017年10月現在）

展示作品サイズ（横 × 縦）：ペンギン通り 30,000mm × 2,000mm 公園通り左側 2,800mm × 2,200mm

公園通り中央 12,000mm × 2,200mm 公園通り右側 1,560mm × 2,200mm

<本件に関するお問合せ先>

株式会社パルコ 広報/IR室 TEL03-3477-5710 小野 ono-jun@parco.jp